株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
定時株主総会	毎年6月
剰余金の配当の基準日	期末配当金　3月31日 中間配当金　9月30日
株主総会等の基準日	(1)定時株主総会　3月31日 (2)その他の基準日 前項のほか必要あるときは取締役会の決議によりあらかじめ公告して設定
単元株式数	100株
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541－8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話　0120－094－777（通話料無料）
上場証券取引所	東京証券取引所　スタンダード市場
公告方法	電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。 ホームページ http://www.mansei.co.jp

（ご注意）

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

●創立75周年記念配当について

当社は2022年5月29日に創立75周年を迎えたことから、株主の皆様への感謝とご支援にお応えするため、中間配当金につきましては、普通配当28円に記念配当10円を加えた38円とさせていただきました。

ホームページのご案内

以下のホームページに株主・投資家の皆様向けのIR情報を掲載しております。最新の会社業績をはじめとするさまざまな情報をご案内しておりますので、どうぞご利用ください。

http://www.mansei.co.jp

萬世電機株式会社

人と未来を技術でつなぐ MANSEI

第77期 中間報告書

2022年4月1日から2022年9月30日まで

証券コード：7565

これからも『技術商社として、お客様のベストパートナーであり続け、ともに成長する』企業を目指します。

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社グループの第77期第2四半期連結累計期間（2022年4月1日から2022年9月30日まで）の中間報告書をお届けいたしますので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

当社グループでは、営業働き方改革を実践し、業務処理の効率化、顧客接点の強化に取り組み、生産性と営業品質を向上させ、お客様の「したい、欲しい、してほしい」に気付き、それを一つひとつ積み重ねていくことで、事業規模の拡大と収益力の向上に取り組んでまいります。

なお、株主の皆様への第77期の中間配当金につきましては、当社は本年5月29日に創立75周年を迎えたことから、株主の皆様への感謝とご支援にお応えするため、1株につき28円の普通配当に、10円の記念配当を加え、1株につき38円とさせていただきました。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

（2022年12月）

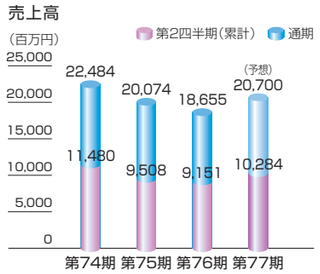
取締役社長　占部正浩

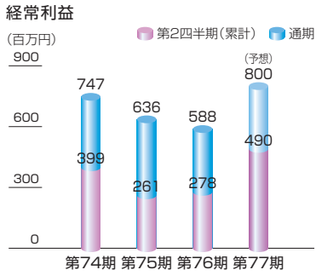
当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済活動の正常化が進む中で持ち直しの動きがみられました。一方で世界的な物価上昇や急激な円安進行など景気の先行きは不透明な状況が続いております。

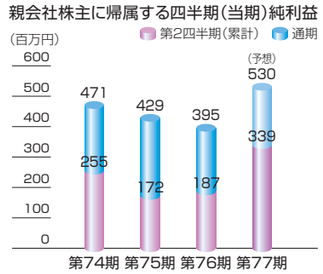
当社グループの事業領域につきましては、半導体関連や電気自動車関連からの需要は好調に推移しておりますが、部品材料不足による商品供給納期の長期化により、厳しい事業環境が続きました。

このような状況の中、当社グループは、顧客起点の徹底による営業力の強化と生産性向上を目的とする営業働き方改革を実践するとともに、労働力不足や脱炭素などの社会的な課題に対し、ロボット・センサ・5G・IoT・AIなどの技術を活用しお客様にとって新しい価値を提供することに取り組み、事業規模の拡大と収益力の向上に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高102億84百万円（前年同期比12.4%増）、営業利益4億43百万円（同比69.5%増）、経常利益4億90百万円（同比76.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億39百万円（同比80.8%増）となりました。







電気機器・産業用システム

FA機器事業　産業プラント事業

電気機器につきましては、部品材料不足に起因する先行発注の影響もあり、配電制御機器やFA機器が伸長しました。産業用システムにつきましては、重電の大口案件が減少しました。

この結果、部門全体では売上高49億45百万円（前年同期比6.5%増）となりました。

電子デバイス・情報通信機器

半導体事業　デジタル・映像事業

電子デバイスにつきましては、半導体需要の逼迫で先行発注が続く中、市場流通在庫品も含めた物量確保により伸長しました。情報通信機器につきましては、パソコン及び周辺機器が伸長しました。

この結果、部門全体では売上高34億8百万円（前年同期比30.8%増）となりました。

設備機器

ファシリティー事業

設備機器につきましては、冷熱機器及び住設機器は回復傾向で推移しましたが、空調設備工事の大口案件は減少しました。

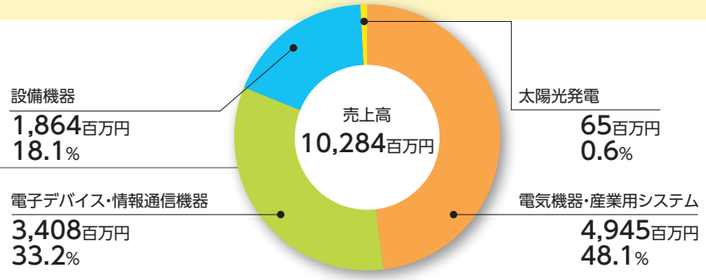
この結果、部門全体では売上高18億64百万円（前年同期比1.3%増）となりました。

太陽光発電

太陽光発電事業

太陽光発電につきましては、概ね想定どおりに発電し、売上高65百万円（前年同期比6.8%増）となりました。

セグメント別売上高構成比



連結貸借対照表

（単位：千円）

科　目	当第2四半期末 2022年9月30日現在	前期末 2022年3月31日現在
（資産の部）		
流動資産	16,130,731	15,566,021
現金及び預金	6,789,049	7,649,463
受取手形、売掛金及び契約資産	4,956,488	4,305,480
電子記録債権	2,026,287	2,060,427
商品	2,080,529	1,334,265
未収入金	209,719	189,622
その他	72,156	29,941
貸倒引当金	△3,500	△3,179
固定資産	2,951,827	2,866,637
有形固定資産	1,769,261	1,819,848
建物及び構築物（純額）	1,264,900	1,297,308
機械及び装置（純額）	363,138	384,388
土地	113,613	113,613
その他（純額）	27,609	24,537
無形固定資産	132,226	153,443
投資その他の資産	1,050,339	893,346
投資有価証券	965,286	815,356
退職給付に係る資産	24,785	16,506
その他	74,197	75,413
貸倒引当金	△13,930	△13,930
資　産　合　計	19,082,558	18,432,658

科　目	当第2四半期末 2022年9月30日現在	前期末 2022年3月31日現在
（負債の部）		
流動負債	6,394,224	5,979,717
支払手形及び買掛金	5,487,047	5,169,933
短期借入金	300,000	300,000
未払法人税等	179,011	112,522
賞与引当金	158,628	151,434
役員賞与引当金	9,600	23,400
その他	259,937	222,427
固定負債	567,769	587,304
繰延税金負債	319,898	347,363
役員退職慰労引当金	96,250	91,100
資産除去債務	69,838	69,422
その他	81,783	79,418
負　債　合　計	6,961,994	6,567,022
（純資産の部）		
株主資本	11,851,249	11,575,559
資本金	1,005,000	1,005,000
資本剰余金	838,560	838,560
利益剰余金	10,023,863	9,748,173
自己株式	△16,173	△16,173
その他の包括利益累計額	269,314	290,077
その他有価証券評価差額金	251,177	286,205
為替換算調整勘定	18,731	4,691
退職給付に係る調整累計額	△594	△819
純　資　産　合　計	12,120,564	11,865,636
負債・純資産合計	19,082,558	18,432,658

POINT　連結貸借対照表のポイント

流動資産は前連結会計年度末比5億64百万円増の161億30百万円となりました。これは主に商品の増加7億46百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の増加6億51百万円、現金及び預金の減少8億60百万円などによるものです。

固定資産は同比85百万円増の29億51百万円となりました。これは主に投資有価証券の増加1億49百万円、建物及び構築物の減少32百万円、機械及び装置の減少21百万円などによるものです。

流動負債は同比4億14百万円増の63億94百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の増加3億17百万円、未払法人税等の増加66百万円などによるものです。

固定負債は同比19百万円減の5億67百万円となりました。これは主に繰延税金負債の減少27百万円などによるものです。

純資産合計は同比2億54百万円増の121億20百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上3億39百万円、配当金の支払額64百万円による利益剰余金の増加2億75百万円などによるものです。

連結損益計算書

（単位：千円）

科　目	当第2四半期（累計） 2022年4月1日から 2022年9月30日まで	前第2四半期（累計） 2021年4月1日から 2021年9月30日まで
売上高	10,284,129	9,151,889
売上原価	8,652,830	7,792,682
売上総利益	1,631,299	1,359,206
販売費及び一般管理費	1,188,069	1,097,647
営業利益	443,230	261,559
営業外収益	48,064	18,617
受取利息	98	84
受取配当金	14,351	12,249
為替差益	29,668	3,563
その他	3,945	2,720
営業外費用	958	1,647
支払利息	810	1,074
その他	148	573
経常利益	490,335	278,529
税金等調整前四半期純利益	490,335	278,529
法人税、住民税及び事業税	162,678	94,834
法人税等調整額	△12,090	△4,229
法人税等合計	150,588	90,605
四半期純利益	339,747	187,923
親会社株主に帰属する四半期純利益	339,747	187,923

POINT　連結損益計算書のポイント

売上高102億84百万円（前年同期比12.4%増）、営業利益4億43百万円（同比69.5%増）、経常利益4億90百万円（同比76.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億39百万円（同比80.8%増）となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

科　目	当第2四半期（累計） 2022年4月1日から 2022年9月30日まで	前第2四半期（累計） 2021年4月1日から 2021年9月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	△627,041	694,670
投資活動による キャッシュ・フロー	△203,517	△13,370
財務活動による キャッシュ・フロー	△66,959	△116,577
現金及び現金同等物に係る換算差額	37,103	6,317
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△860,414	571,039
現金及び現金同等物の期首残高	4,649,463	3,968,539
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,789,049	4,539,579

POINT　連結キャッシュ・フロー計算書のポイント

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は37億89百万円（前連結会計年度末比8億60百万円減）となりました。

営業活動により使用した資金は6億27百万円（前年同期は6億94百万円の獲得）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益の計上4億90百万円と、仕入債務の増加額2億38百万円などの資金の増加、棚卸資産の増加額7億26百万円と、売上債権の増加額5億42百万円などの資金の減少によるものです。

投資活動により使用した資金は2億3百万円（前年同期は13百万円の使用）となりました。これは主に投資有価証券の取得による支出2億円などによるものです。

財務活動により使用した資金は66百万円（前年同期は1億16百万円の使用）となりました。これは主に配当金の支払額64百万円などの資金の減少によるものです。

会社の概要（2022年9月30日現在）

社名	萬世電機株式会社 （英文社名　MANSEI CORPORATION）
設立年月日	1947年5月29日
資本金	10億5百万円
従業員	190名（連結）
事業所	本社　〒553-0003 大阪市福島区福島7丁目15番5号 神戸支店 〒652-0874 神戸市兵庫区高松町2番3号 東京支店 〒101-0047 東京都千代田区内神田1丁目17番9号 TCUビル7階
子会社	萬世電機香港有限公司 万世電機貿易（上海）有限公司 日本原ソーラーエナジー株式会社

役員

代表取締役 取締役社長	占部　正浩	社外取締役	浦田　和栄
常務取締役	伊藤　弘行	社外取締役	木ノ下英則
取締役	白川　勝三	常勤監査役	多田　典康
取締役	香川　直毅	社外監査役	谷間　　高
取締役	平井　　徹	社外監査役	鈴木　　昇
取締役	小島　宏夫		

株式の状況（2022年9月30日現在）

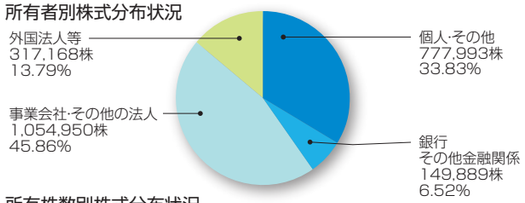
発行可能株式総数 …… 8,000,000株
発行済株式の総数 …… 2,300,000株
株主数 …… 442名
単元株式数 …… 100株

大株主（上位10名）

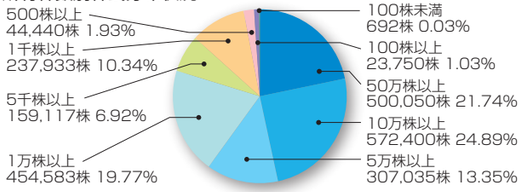
株　主　名	持株数	持株比率
三菱電機株式会社	500（千株）	21.86（%）
ブラッククローバーリミテッド	305	13.37
日光産業株式会社	266	11.65
光通信株式会社	85	3.74
株式会社サンセイテクノス	60	2.62
占部正浩	56	2.47
株式会社三菱UFJ銀行	55	2.40
東洋電機製造株式会社	50	2.19
萬世電機従業員持株会	48	2.12
占部弘晃	40	1.79

（注）持株比率は自己株式（12,243株）を控除して計算しております。

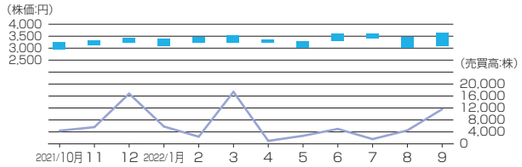
所有者別株式分布状況



所有株数別株式分布状況



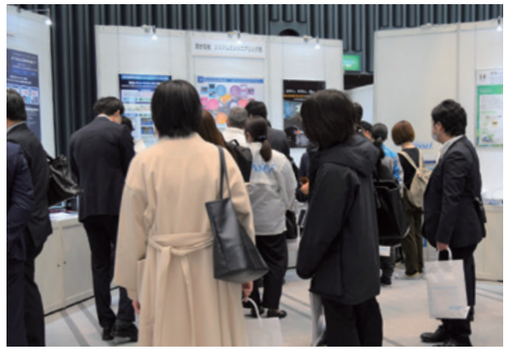
株価及び売買高の推移



TOPICS

MANSEIフェア2022　開催

『MANSEIフェア2022』では『新たな日常』の実現をコンセプトにパートナー会社と連携し、「デジタル化による生産性向上」「AI、ロボット、ローカル5G」「SDGsを中心とした環境への貢献」「感染症対策、防災・減災」「サプライチェーン」の切り口から、さまざまな技術・商品をご紹介させていただきました。716名の方々にご来場いただき、6講座のセミナーには151名の方々に受講いただきました。



●開催日時　2022年11月10日（木）・11日（金）
●開催場所　毎日新聞ビル　オーバルホール
●コンセプト　『新たな日常』の実現
～デジタルトランスフォーメーションの推進～

主な出展内容

デジタル化による生産性向上
- 工場・物流DX
- 設備監視システム
- FAセンサ
- 計測機器
- FA機器、FAシステム
- VRスマートオペレーション、XRスマートメンテナンス
- 回転機診断システム
- 産業用PC、産業用パネルPC
- 小型ゲートウェイ
- 電子黒板機能搭載プロジェクター
- マルチビデオエンコーダー

AI、ロボット、ローカル5G
- ロボットシステム
- 自動梱包機械
- 溶接ロボット、ビード切削ロボット
- AIプラットフォーム

SDGsを中心とした環境への貢献
- 植物工場
- EV充電ソリューション
- 空調管理システム、空調冷熱機器、電材住設機器
- 自然冷媒チラー
- FRPタンク
- 高圧キュービクル
- 断熱パネル
- 空調制御サービス
- 次世代節電ユニット
- 補助金事業

感染症対策、防災・減災
- 防振装置、ドレンポンプ
- 止水パネル、防音換気ドア
- 遠隔監視ツール、防爆形非常用LED灯器具
- セキュリティゲート
- 高所作業台

サプライチェーン
- 半導体
- 電源IC
- 高耐圧入力DC-DCコンバータ
- 空気質監視システム
- 海外商材